

2020年度大学連携環境学習プログラムの開催結果について

1. 業務概要

持続可能な社会に向けて、学術機関の専門的知識や環境 NPO の経験を活かし、多様な地域における人間と自然環境の関わりを体験的に学び、児童の新たな環境観・動物観、主体性と対話力を引き出す環境学習プログラムを実施した。

2. 業務内容

世界の4つの地域における環境観、人間と自然の関係性に学ぶワークショップ「京都で世界を旅しよう！」を、コロナ禍という社会状況を鑑みて、オンラインで実施した。

■日時・場所

「京都で世界を旅しよう！」オンライン・ワークショップ

2020年11月22日(日)・12月5日(土)・12月20日(日)・2021年1月16日(土)

それぞれ午前(10:30~12:30)午後(14:30~16:30)の2回ずつ

合計8回実施 トリップ1・2・3は京都大学東南アジア地域研究研究所稲盛財団記念館2Fセミナー室より配信、トリップ4はリモート配信(京都府緊急事態宣言発出中)

■参加者数(参加者142名(児童82名、保護者60名)、スタッフのべ52名、合計のべ194名)

| | トリップ1 | トリップ2 | トリップ3 | トリップ4 | 総計 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 児童参加者数 | 17 | 14 | 24 | 27 | 82 |
| 保護者参加者数 | 17 | 14 | 16 | 13 | 60 |
| 参加者合計 | 34 | 28 | 40 | 40 | 142 |
| スタッフ(のべ) | 12 | 14 | 14 | 12 | 52 |
| 合計 | 46 | 42 | 54 | 52 | 194 |

■実施プログラムの内容

「京都で世界を旅しよう！」

オンライン上において、演劇的ワークを取り入れ、文化人類学者・俳優と市民や子どもたちが共に考える場をつくり、相互に交流し、それぞれの地域の環境と人の関わりについて学んだ。

トリップ1 「ゾウのいる森で遊ぶぞう！」

バカの人々が大事にする「森に宿る精霊」とは何かを探る探検を通して、豊かな熱帯雨林、動植物に依存して生きる人間のあり様、狩猟した獲物は「自分のもの」ではなく「皆のもの」とする所有の考え方などを、狩猟採集民バカ・ピグミーを通して学んだ。

トリップ2 「思いやり社会のイスラーム」

今日の環境問題は、資本主義経済による資源の過剰の独占や利益の集中などが一つの要因といえる。「イスラームの思いやりの謎にせまれ！—イスラームの思いやりは、日本の思いやりとどんなふうが違うのだろう」という探検を通して、利子のないイスラーム経済の考え方について学んだ。

トリップ3 「動物になってみよう！」

カナダ先住民クリンギットのすべての人々は、ワタリガラスかオオカミという2つのグループのいずれかに属し、自分たちを動物になぞらえ、動物や植物や石や水などを敬う。「クリンギットはなぜ動物になろうとするのか」を探る探検を通して、クリンギットの自然と人、人と人の関係を学んだ。

トリップ4 「アンデスの世界・神殿のひみつ」

「アンデスの人々は、どうして神殿と呼ばれる建物をつくったのだろう」という探検を通して、平等な関係性のなかで力を発揮し力をあわせることや、なぜ人間は神殿をつくったのかを体験的に考えた。京都環境フェスティバルHP上でも参加者の募集を行った。

■様子と展望

人間と動物や森との関係への考えを深め、さまざまな疑問や対話が活発に生まれる様子がみられた。口コミで京都府外からの申し込みも見られ、保護者や子どもたちからは来年度の継続実施へ多くの要望の声を頂いた。



トリップ1 ゾウのいる森で遊ぶぞう



トリップ2 思いやり社会のイスラーム



トリップ3 動物になってみよう



トリップ4 アンデスの世界・神殿のひみつ

■成果の発信

- ・京都環境フェスティバルにおいて「トリップ1 ゾウのいる森で遊ぶぞう」オンライン・ワークショップの様子について動画のダイジェスト版を掲載した。トリップ2, トリップ3についても動画の編集を行い、成果の発信を行っていく。
- ・ウェブサイト
- ・マナラボ 環境と平和の学びデザイン HP <http://manalabo.org/>

■担当者

トリップ1：大石高典、園田浩司、矢野原祐史、田中文菜、弓井茉那、飯塚宜子

トリップ2：長岡慎介、園田浩司、矢野原祐史、田中文菜、弓井茉那、渡辺美帆子、飯塚宜子

トリップ3：山口未花子、園田浩司、矢野原祐史、田中文菜、弓井茉那、山口恵子、飯塚宜子

トリップ4：關雄二、園田浩司、矢野原祐史、弓井茉那、渡辺美帆子、飯塚宜子

3. 協力機関

京都環境フェスティバル連動企画

主催：マナラボ環境と平和の学びデザイン 京都府大学連携環境学習プログラム実施事業

京都大学東南アジア地域研究研究所共同利用・共同研究拠点「地域情報資源の共有化と相関型地域研究の推進拠点」(CIRAS)共同研究「パフォーマンスによる文化の交錯—演劇教育を活用した地域研究の展開」(代表飯塚宜子)

後援：京都市教育委員会、NPO 法人平和環境もやいネット

協力：京都大学東南アジア地域研究研究所、地域研究コンソーシアム

国立民族学博物館、東京外国語大学現代アフリカ地域研究センター (チラシ添付)

4. 経理報告 (別紙添付)